

ヘク獨ノ國力ニ對スル信頼ハ之ヲ強ク考ヘアルモノ多シ  
但獨ニ對スル帝國トノ協力ニ就テハ我施策カ獨ノ利害ニ大ナ  
ル關係ヲ生シタル場合彼ノ出方ハ警戒ヲ要スヘク獨ハ信頼シ  
難シトスルモノ多シ

十月二十七日(月)第六十二回連絡會議

再檢討ニ關スル件

午後二時開始午後六時廿分終了

一、第五問題「主要物資ノ需給見込如何」

賀屋 南方作戰ノ場合國家需要物資ニ關シ左記承り度

ノ所要數量ヲ全部(軍、官、民)ヲ含メアリヤ、特ニ軍需

ハ數年先ヲ見透シタル數量ナリヤ

二、右ニ對スル國家ノ供給力ヲ考ヘアリヤ(生産力「ストツ

ク」等ヲ含ム)

鈴木ノニ就テ

日本ニハ國防國家態勢整ハス、物的關係ノ永年計畫ナク  
年度年度毎ニ國ノ供給力ト各方面ノ所要量ヲニラミ年々  
配分シアルカ現狀也

十七年ノ爲ノ所要資源供給力ハ十六年度ノ九割ヲ見込ミ  
アリテ供給力カラセハ「ストツク」全部ヲ盡スコトナ  
ル但綿花ノミハ「ストツク」ノ残リト支那カラノ購入ニ  
ヨリ十八年迄ハツナクコトヲ得

生産ノ細部ニ就テハ官民需ノ壓迫ハ現在ヲ以テ籠頂トス

之以上壓縮セハ國ノ生産力ハ減スヘシ

船三〇〇万吨常備使用ヲ許スナレハ現在程度ノ物的圖力  
ノ維持可能ナルモ三〇〇万吨ノ船舶維持ノ爲ニハ、十七  
年四〇万吨、十八年六〇万吨ノ造船ヲ必要トス、然ルニ  
若シ島田海相ノ言ノ如ク造船能力カ半減スルニ於テハ、  
第三年ニハ總動員民需ノ爲一九〇万吨トナリ圖力ノ維持  
ニ不安アリ

2ニ就テ

東條陸軍トシテハ對「ソ」戦備ニ重點ヲオキテ準備セリ、南

方用資材ハ其一部ニ過キス陸軍ハ從來ノ予算ノ中約六割ヲ軍需品トシテ蓄積シ來レリ十七、十八年度分迄ハ從來通りノ配當アレハ何トカ賄ヒ得ヘシ、但右ハ統帥部ノ要求ニハ滿タサルモノニア此點統帥部ニ我慢ヲシテ貰フテ居ル次第ナリ十九年度以後ノ如キ先キノコトハワカラヌ陸軍ハ「ソ」ノ一七〇師ノ相當數カ極東ニ來ル積リテ準備ヲススメ來リ未ダソノ途中ニアルノテ不十分タ然シ物ノ不足ハ情況ノ推移ヲ見テ機ヲ促ヘ且作戰ノ妙トテ以テ補フコトカ出來ル、算盤通り物カ無イカラトテ戰爭カ出

杉山

來スト言フコトハナイ

海軍次長、岡局長、整局長等ノ質疑ニ對スル應答及押問答ヲ綜合スレハ左ノ如シ

海軍ハ南方ヲヤル以上ハ米國ノ◎軍擴計畫ニ對應出來  
ネハナラヌ故ニ鐵量ハ到底十六年度程度テハ困ル  
海軍艦船ノ新造予定案ハ(十七年 一八万吨)、(一八年 二五万吨)、(一九年 二七万吨)、(二〇年 三〇万吨)、(二一年 三七万吨)、(二二年 三四万吨)、(二三三年 三三万吨)ナリ岡局長曰ク之ハ軍令部案ニシ

テ海軍省トシテハ必スシモ同意出來スカ鐵八十六年度分  
ナトテハ足ラス

山田整備局長

十一月開戦セハ航空揮發油ハ南印ヨリトルモノヲ加ヘテ  
三〇ヶ月、三月開戦ノ場合ニハ、二一ヶ月。又現狀維持  
ナレハ航空揮發油ハ三四ヶ月自動車燃料ハ二六ヶ月テ共  
ニ零トナル

賀屋

私カ質問スルノハ海相ノ言ニヨレハ海軍予算ハ九〇億ト  
ノ事故陸軍モ約一五〇億位ヲ要求セラルヘク陸海軍ノ既

定經常費以<sup>外</sup>一五〇―二〇〇億ノ大予算トナリ物費カ

二倍以上無ケレハ駄目ト言フコトニナルノテ物ノ事ヲ賀

ササルヲ得ス、物カ無ケレハ予算ハ出來ヌ

ニ第七問題「獨伊ニ對シ協力セシメ得ヘキ限度如何」

外務ハ大ナル期待ヲナシ得スト言ヒシモ參本案ヲ主トシテ

取り入レ判決ス其要旨左ノ通り

判決 大ナル期待ヲカケ得サルモ我決意ヲ知ラシメ作戰協

定ヲ提議スル場合ニハ差シ當リ左ノ事項ヲ約諾セン

メ得ヘシ

(1) 對米宣戰

(a) 單獨不講和 (參本案ノ通リト永野主張ス)

(b) 近東作戰ノ強化ニヨリ對日呼應

(c) 通商破壞戰ニ對スル協力

尙「ソ」ニ打撃ヲ與フルコトハ現ニヤリツツアルヲ以テ之ヲ強ク要求セハ却テ我方ニモ要求セラルルコトモ多カ  
ルヘク之ハ省クヲ可トス英本土攻略ニ就テハ將來約諾セ  
シムルコトトシ益シ當リハ之ヲ省クコトトナレリ  
海軍側ノ實ニヨレハ日本ト獨トノ海上ノ擔任境界ハ「コ

ロンボ」南北ト歐諸セラレアル趣ナリ

第八問題 「米英前可分不軍分不可分ナリヤ」

外務及海軍ニテ説明ス

陸軍ハ作戰的ニ見レハ必スシモ不可能ナラサルモ海軍作

戦カ不可能ナレハ陸軍作戦モ勿論不可能トナル旨ヲ附加

セリ

「本日總長ヨリ統帥上ノ見地カラハ時日切迫シアルヲ以テ檢討ヲ  
急カレ度キ旨申入レ總理ハ政府トシテモ統帥部ノ急カルル要望  
ハ承知シアルモ政府トシテモ十分ニ檢討シテ責任ヲモチ度キ故  
此點ヲ諒セラレ度ト違ヘタリ總長ハ政府モ無論責任トルモ統帥  
部トシテハ現實的ニ實ヲ貢ハサルヘカラサルヲ以テ急遽ニ進ム  
ルコトニ就テハ特ニ配慮アリ度キ旨ヲ重ネテ要望スルトコロア  
リ  
觀測トシテハ  
(4) 總理ノ決意ハ不變ナル如シ

475.21  
2.2.2010  
0933.

(四) 海相ハ依然判然トセス發言ハ大体消極的ノコト多シ

(五) 海軍全般ニ物資取得ノ宣傳ヲヤル節アリ

(六) 外相ハ率直簡明ニシテ相當自信モアリ大体論議モ一貫シアル

モノト見ラル

十月二十八日(火)第六十三回連絡會議  
再檢討ニ關スル件

午後二時開始午後六時終了

「第九問題(イ)「三月戰爭發起ノ場合對外關係ノ利害如何」

外務參本ノ案ヲ勘考シ對外關係ノミカラハ戰爭開始時機、國際關

係ヲ大キクニラミ現在ヨリモヨイ場合力來ルカモ知レヌト判決セ

リ

外務 「ソ」ノ北ヨリスル脅威ハ今ヨリモ輕クナル

參本 必スシモ然ラス冬期間ニ彼ハ整頓シ米ト結合シテ明春對

日積極行動トルコトアルヘキハ第三問題ニテ研究ノ通り